

エネルギー・環境子どもワークショップ in 川崎 2016 を開催します！

「省エネは大切」だけど、どうしたらエネルギーを大切に使えるのか。「地球温暖化が進むと大変なことになる」だけど、地球の環境のために何ができるのかなど、環境について授業で学んだことを通して今できることを考え、実践してきたことの成果と課題を発表します。ぜひ会場へお越しください。(申込不要、参加無料)

- 日 時：平成 28 年 2 月 13 日 (土) 9 時～ 11 時 30 分
- 場 所：川崎市立大戸小学校体育館 (中原区下小田中 1-4-1JR 武蔵中原駅より徒歩 5 分)
*ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。



【発表の様子】

主催・問い合わせ：エネルギー・環境子どもワークショップ実行委員会 (事務局 市立小倉小学校)
TEL 588-3331 FAX 588-1812

川崎市と横浜市が連携して化学物質と環境に関するセミナーを開催しました

化学物質による環境汚染の未然防止と環境リスクの低減に向けて、今年度も横浜市と連携して市民、事業者の皆さまを対象に次のとおり 4 回のセミナーを開催しました。今後も、化学物質に関する情報発信を行い、化学物質対策の推進に努めていきます。

- 教えて！北野先生 化学物質ってなに？ (7 月 5 日)
淑徳大学 北野大(まさる)先生にご講演いただき、化学物質の性質や付き合い方を学びました。
- リスクで考える化学物質との付き合い方 (11 月 14 日)
環境省化学物質アドバイザーの方にご講演いただき、クイズを交えながら、化学物質の「リスク」の考え方を学びました。
- 化学物質対策セミナー (11 月 30 日)
環境省による国の化学物質対策の最新の動向や、京セラケミカル株式会社による環境に関する取組事例についてご講演いただきました。
- 環境リスク評価講習会 (12 月 3 日、18 日)
「環境リスク評価」の基礎的な解説のほか、実際にパソコンを利用して解析評価演習を行いました。



【化学物質対策セミナーの様子】

セミナーの詳細については、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-3-2-10-3-0-0-0-0.html>

問い合わせ：環境局企画指導課 (化学物質担当) TEL 200-2533 FAX 200-3922

コラム 資源物のゆくえ ～プラスチック製容器包装編～



普段、皆さまに分別していただいている資源物がどのようにリサイクルされているかご存知でしょうか。今回から全 3 回に分けて、各資源物がどのようにリサイクルされているのかをご紹介します。



①集められたプラスチック製容器包装

集められたプラスチック製容器包装は、浮島の資源化処理施設に運ばれます。平成 26 年度の収集量は、12,395 トンにもなります。



②選別 (異物を取り除く)

刃物類や注射針、乾電池などの異物が混ざっていないか、作業員が手選別をしています。異物が混入していると、リサイクルの妨げになるため、絶対に入れないようにお願いします。



③かたまりにしてしぼる

選別されたものを圧縮し、「ペール」と呼ばれるかたまりにしていきます。ペールは、1 つあたり約 250kg の重さがあります。



④再生工場でリサイクル

再生工場でプラスチックボードなどに生まれ変わり、看板など様々な用途に使われています。今後とも、分別へのご協力をよろしくお願いいたします。

【次回はミックスペーパー編になります】

問い合わせ：環境局減量推進課

TEL 200-2580 FAX 200-3923

公害病被認定者数 1,378 人
(認定者総数 6,040 人 - 認定失効者数 4,662 人)
認定失効者数 4,662 人
(治癒等 2,078 人 + 死亡者数 2,584 人)
平成 27 年 12 月末現在 (健康福祉局)

発行編集

川崎市環境局総務部環境調整課

電話 044 (200) 2387 (直通)

E-mail 30kantyo@city.kawasaki.jp



モバイル川崎

「環境情報」へ



大豆油インキで印刷しています。